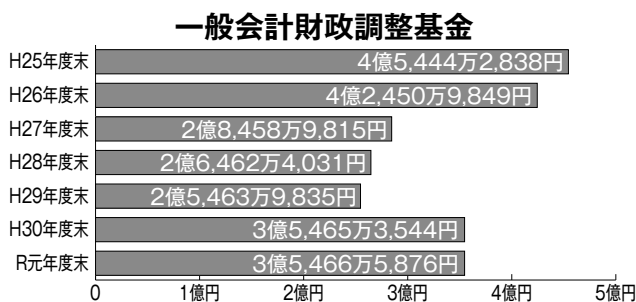


# コロナ禍における 松田町の行政や財政の対応は



質問者  
井上 栄一 議員

(1) コロナ禍で町財政は先が見通せない状況です。定例会では、前年度決算が示されますが、非常事態で必要なのが蓄えです。町の貯蓄・財政調整基金



の状況はどうなっていますか。  
(2) 小学校建設事業は、実施設計から校舎建設へ進む段階ですが、コロナ禍の状況では厳しい税収が推測されます。平成30年度で小学校整備事業の債務負担行為は議決され、ここで実施設計完了に伴う松田小学校整備事業費の工事費の支出や財源がどう変動するのか伺います。  
(3) これからの台風シーズン、また、地震や洪水など災害は突然襲ってきます。被害者を未然に防ぐために避難所の対応は待ったなしです。現コロナ禍における避難所の対応はどうなっていますか。

財政調整基金は、足柄上郡の財調積立額の推移と比較してではなく、町の今の財政状況の中で今後進める事業、コロナ禍の今後の収入源を含めて1億6千万円補正で繰り入れ、5億4千万円とする。  
今後財政調整基金（使途目的が定められていない基金）で積み増しをして取り組み、更に今後、寄一番地の土地の売却収入を積み増す予定としている。  
引き続き、新型コロナウイルス感染症による第2・第3波の影響や台風などの自然災害時には、（蔵を開く）準備もしっかりと備えていく。

## A

### コロナ禍における 町の貯えは十分

回答（町長）

# 世界的景気低迷の中、 今後の事業執行を問う



質問者  
中野 博 議員

長引く新型コロナウイルス禍の中、今、世界の経済はかつてない危機的な状況にあります。我が国においても、これに加え毎年のように繰り返される自然災害のため、来年度以後の国からの交付税の減少や町税収入の減収は余儀なくされることと思えます。

松田町としての今後予定されているあらゆる事業に対してのしっかりとした優先順位をつけた見直しを求められてくるのではないかと思いますが、行政としてのお考えを伺います。

## A

### 全力で町民の命と 生活を守る

回答（町長）

今後、新型コロナウイルス感染症対策に必要な財源需要が増加する一方で、町民税や譲与税、交付金は景気低迷の影響を受



第6次総合計画

け、減収が見込まれるなど、厳しい財政運営が予想される。そんな中ではあるが、今後の状況に際して必要となる新たな対策、町民への安定的な行政サービスの執行は確実に実行していくが、時世による変化に即、対応できるように常にブレイキの上足を乗せておく感覚で行っていく。その為、町税等のほか、自主財源の新たな確保や増加策を図っていく。  
第6次総合計画等にて予定している政策的な取り組みの優先順位については、開始時期や事業内容の見直しなど、時世に合わせて、柔軟な対応をしていく。